【ニュースリリース】
報道関係者各位　　2025年 6 月27 日

2025年 6 月 12～20日にブルガリアで開催された
International Festival of Red Cross and Health Films にて
映画「じょっぱり―看護の人花田ミキ」が Red Cross Special Award（赤十字特別賞）を受賞

ブルガリアのヴァルナにて開催された第21回 International Festival of Red Cross and Health Films（国際赤十字・健康映画祭）において、映画「じょっぱり―看護の人花田ミキ」（監督：五十嵐匠）が、Red Cross Special Award（赤十字特別賞）を受賞しました。

本作は、戦後の混乱期に青森で命の現場を支え続けた実在した看護師・保健師の花田ミキの生き様を描いた映画です。社会的に弱い立場に置かれた人々に寄り添い、「看護」とは何かを問いかけ続けた彼女の姿が、国際的にも高く評価されました。

■60 周年を迎えた International Festival of Red Cross and Health Films での受賞

International Festival of Red Cross and Health Films は、ブルガリアのヴァルナで開催される国際映画祭で、赤十字の理念に基づき、「人道支援」「医療」「社会的弱者の保護」などをテーマにした映画が世界中から集まります。カンヌ、ヴェネツィア、サンセバスティアンなどの映画祭と同様に「A」カテゴリーに分類されています。

1965 年に始まり、隔年開催されており、平和や人間の尊厳を訴える作品に光を当てる場として高く評価されています。Red Cross Special Award は、赤十字精神を最も体現した作品に贈られる特別な賞です。

■監督・五十嵐匠のコメント

うれしいニュースがブルガリアから飛び込んできました。ブルガリアのヴァルナ市で行われる 60 年続く伝統ある国際映画祭で、映画「じょっぱり」が、赤十字特別賞を受賞しました。今回は 110 か国から 2000 本以上の映画がエントリーされました。看護師、保健師を主人公とした映画が世界の方々に受け入れられたことは意義あると共にとてもうれしく思っています。花田ミキさんは私の命の恩人です。ほんの少しだけ命のお礼が出来たと思いました。ご協力くださったスタッフ、キャスト、そしてたくさんのサポーターの皆様、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

映画「じょっぱり-看護の人花田ミキ」 監督　五十嵐　匠

■Red Cross Special Award 受賞理由

"Through the interaction of three generations, the film "JOPPARI - The Nurse, Miki Hanada" tells the story of nurse Miki Hanada, who is a bearer of the spirit of the Red Cross in post-war Japan. Starting her training as a Red Cross nurse, she is not directly interested in the movement itself, but growing up in a conservative society, she increasingly discovers the depth and frankness of the messages of the Red Cross organization. Finally reaching her cherished phrase that everything that opposes life is evil.

The film leads us through the battles and challenges of Miki Hanada, through filigreely presented historical events, revealing the depth and multi-layeredness of Japanese society. We see how humanity gradually overcomes even the most difficult bureaucracy and how individuals are able to change the state machine, making it work for the benefit of all people. Miki Hanada's kindness and perseverance leave us with the desire to become useful and good, like her. And as the film ends, it remains in the minds and hearts of the viewers.

We are awarding the film “JOPPARI – The Nurse, Miki Hanada” for its honest and frank presentation of the basic principles of the Red Cross, translated into action by the film's main character, Miki Hanada."

Илко Раеж
Director, International Festival of Red Cross and Health Films

映画「じょっぱり一看護の人 花田ミキ」は、三世代の交流を通じて、戦後の日本において赤十字の精神を体現した看護師・花田ミキさんの物語を描いています。彼女は赤十字の看護師として訓練を始めた当初は、赤十字運動そのものに特別な関心があったわけではありません。しかし、保守的な社会の中で成長していく中で、赤十字の掲げるメッセージの深さと率直さを徐々に理解し、やがて「命を阻むものはすべて悪」という、彼女が大切にしていた言葉にたどり着きます。

本作は、花田ミキさんが直面した数々の困難や挑戦を、繊細に描かれた歴史的背景の中でたどっていき、日本社会の奥深さと多層性を鮮やかに浮かび上がらせます。人間の持つ力が、いかに複雑で硬直した官僚制度さえも乗り越え、人々のためにそれを動かすことができるかが描かれています。花田ミキさんの優しさと信念は、観る者に『自分も誰かのために役に立ちたい』『善くありたい』という想いを残し、物語が終わったあともその余韻は心に深く残ります。

私たちは、赤十字の基本理念を率直かつ誠実に表現し、それを主人公・花田ミキの行動によって力強く示したこの作品に対し、Red Cross Special Award を授与します。

イルコ・ラエフ
International Festival of Red Cross and Health Films ディレクター

■映画「じょっぱり―看護の人花田ミキ」
（2024/日本/90 分）
監督：五十嵐匠
出演：木野花、王林、伊勢佳世、相馬有紀実、丸山燈大、半覚醒、松本実、舞の海秀平、草野とおる、佐々木史帆、竹の子みさ子、梅津芽生、宮本大誠、クリスチャン・ブル、チャールズ・グローバー、犬山ヴィーノ、本宮真緒、小田切一、銀次郎、十日市秀悦、阿部伸勝、山口よりとも、中村レナ、ほか

製作：ストームピクチャーズ/制作プロダクション：トロッコフィルム/
配給・宣伝：ポルトレ/制作協力：かまくらさちこ株式会社
後援：日本赤十字社/日本看護協会/2024 年/日本/90 分/カラー/ビスタサイズ/©stormpictures

【映画予告編】
https://youtu.be/Zw_uV0qOdA4

【映画公式 HP】
https://hanadamiki.com/

【映画公式 SNS アカウント】
X(Twitter)：https://twitter.com/hanada_miki
Facebook：https://www.facebook.com/hanadamiki/

■花田ミキ(1914～2006 年)

　青森県弘前市生まれ。青森弘前高等女学校(後の青森県立弘前中央高等学校)卒業後、盛岡赤十字看護婦養成所を経て、日本赤十字青森県支部の看護婦となり日中戦争と太平洋戦争に三度召集され、20 代のほとんどを戦場で過ごす。
　終戦後は青森県で、看護教育の基礎を築き上げるため青森県立高等看護学院(いまの青森県立保健大学)の立ち上げ、保健行政の立場から無保健婦町村の解消、僻地救護看護の確立に努めた。保健文化賞、東奥賞受賞。

【本リリースのお問い合わせ先】
映画「じょっぱり―看護の人花田ミキ」事務局
〒104-0033　東京都中央区銀座 1-22-11 銀座大竹ビジデンス 2F
かまくらさちこ株式会社内
Email: info@kamakurasachiko.com Tel: 080-1695-1192（担当：鎌倉幸子）